

教育課程上の位置付 特別活動(学校行事 勤労生産・奉仕的行事)

## 実施概要

当校は、創立70年目の都立で初めての知的障害特別支援学校です。地域に開かれた学校として地域との連携に努めており、その一つとして、毎年、PTAや教員を中心に「青鳥夏まつり」を催しています。

社会貢献活動としては、当校併設の「ブルーバードカフェ」で、地域の方にカフェサービスを提供しています。

また、1年次の校外実習活動として、杉並の高齢者施設で清掃を行っています。

今回は、高齢者に対する社会貢献活動を目的として、特別活動の位置付けで、初めて地域の施設との交流に取り組みました。

奉優デイサービス池尻は、グループホームなどを併設する生活基盤型通所介護施設で、当校から徒歩圏にある施設ですが、これまで交流はなく、初めての交流活動となりました。



物送りゲームでは、話す言葉にも心を込めて

## 活動報告

実施日：11月10日(木)

生徒による社会貢献活動という趣旨に則り、始めから終わりまで、生徒の進行で、歌、続いてダンスを披露しました。

ダンスでは、施設の利用者にも馴染のあるソーラン節を踊ることで利用者との一体感を持たせ、続くライジングサンで若い躍動感を伝えるようにしました。

利用者の皆さんからも季節の歌のプレゼントを用意していただきました。

物送りゲームは、利用者の間に生徒が入り、物を手渡ししながら自分の名前や好きな食べものなどを伝え尋ねるというもので、生徒一人一人が工夫しながら利用者の方々との楽しいふれあい交流ができるようにしました。

活動参加者 当校 生徒…14人 引率教員…2人  
内訳 交流先 利用者…40人 担当職員…10人

交通手段 当校と奉優デイサービス池尻の距離はおよそ900m  
徒歩で12～15分

## 当日のスケジュール

- 13:30 学校・施設・さわやか青少年センター・都教委、4者打合せ
- 14:00 開会の挨拶 生徒による始めの挨拶と1人ずつ自己紹介
- 14:05 生徒による歌(365日の紙飛行機)
- 14:15 ダンス披露(ソーラン節・ライジングサン)
- 14:30 利用者より歌のプレゼント(伴奏:ギター)
- 14:35 ゲーム(物送りゲーム)
- 14:55 終わりの挨拶(生徒代表、教員) 終了

## 活動のために準備したもの

- 普通の授業や体育祭での取組みを活用した。

## 工夫したところ

- 準備期間が短かったが、できるだけ生徒主導で会を進行できるようにした。
- 利用者の皆様にも一緒に楽しんでいただけるように、選曲等に配慮した。

## 実施にあたって注意したところ

- 事前に生徒達に今回の趣旨を説明した。
- 座席の配置やゲームの内容等、利用者の方の安全面には配慮した。また、利用者の皆様にも一緒に楽しんでいただけるようにした。

## 良かったと思うところ

- 利用者の皆様の温かい見守りの中、生徒達が楽しそうに取り組んでいたところ。
- 利用者の皆様、職員の皆様の協力もあり、一体となって取り組めたところ。

## 今後に向けての学校からの抱負

- 今回のこの事業を足掛かりとし、地域の施設等と、お互いの負担にならないようにしながら、息の長い交流を継続していけたらと思っています。
- 学校としては、「多様な人々との交流への意欲」を育む取り組み、「他の人に対して行う貢献活動」に取り組んでいければと考えます。

## 活動の感想

## 生徒・教員の感想

## 生徒

- とても楽しくできて嬉しかった。踊れてよかった。皆とおしゃべりできてよかった。皆さん、ありがとうございました。おじいさん、おばあさんの歌のプレゼントがとても感動しました。また、来ます。
- 皆さんにたくさんの笑顔と元気をもらい、心が温まるような時間でした。たくさん話もでき、色々な事を知ることができてよかった。
- 利用者の前で歌うのは緊張しましたが、笑顔で歌えました。ゲームをしてたくさん話をしました。奉優デイサービス池尻には優しい人がいっぱいいて心が温くなりました。

## 教員

地域との「交流」の機会が少なくなってきた中、今回のこの活動は生徒達にとり貴重な交流の場となった。利用者さんの優しい言葉かけ等に触れ、生徒が自ら積極的に話しかけたり、普段学校では見られない表情や態度で接している姿を見て感慨深いものがあった。生徒たちも自分たちの歌やダンスで利用者の方に楽しんでもらえたと実感できたようである。今回のこの機会をはじめの一歩とし、地域の施設等と息の長い交流を続けていければと思う。

## 施設の参加利用者・担当者の感想

## 利用者

- 少年に返って、非常に良かった。
- 楽しい踊り、ありがとうございました。皆さん、元気で本当に嬉しく思いました。
- 皆さんが一生懸命やっている想いが見事に受け止められて、皆さんに会えて嬉しい。
- こういう機会を何回も持ってほしいと思います。皆さんに力をいただいて、私たちがこれから頑張れると思います。

## 事業所責任者

当施設は地域・世代間交流をすすめて運営しております。お話を伺いとても良い事業であると思えました。活動の中でご利用様と学生の方々とのふれあい、お互いが刺激を受けて楽しい時間を過ごしていただければと思っていました。活動中は笑顔が溢れ有意義な時間となりました。

## ■ 実施までの経過 ※ (コ) : コーディネーター

8月24日 当校と(コ)、当校にて第1回打合せ。

9月7日 (コ)、奉優デイサービスに施設長を訪ね、協力を依頼。快諾いただく。

9月13日 当校の担当教員と(コ)、当校にて第2回打合せ。(コ)が紹介する2施設の中より、奉優デイサービスとの活動に決定する。

10月6日 当校の担当教員と(コ)が奉優デイサービスを訪ね、施設の状況、実施場所を確認し、3者で、当校の社会貢献活動の活動の概要を決める。

11月4日 当校の担当教員と(コ)が再び、奉優デイサービスを訪ね、ゲームによるふれあい交流の実施の具体的な中身について検討する。その後、担当教員、施設担当者及び(コ)で詳細を詰め、当日に至る。

## 交流先

社会福祉法人奉優会  
奉優デイサービス池尻

住 所：東京都世田谷区池尻2-3-45

## ■ 施設概要

- 通所介護事業(デイサービス) 1日30名
- 予防介護事業



ダンスは「ソーラン節」と「ライジングサン」



皆さんから「楽しかった」「また来てね」



教育課程上の位置付 特別活動(生徒会活動)

## 実施概要

当校は、知的障害のある児童・生徒のための小学部、中学部、高等部を設置する特別支援学校です。

社会貢献活動は、これまで高等部の食品加工班が製作したクッキーの目の前の八広団地での販売や、清掃班による八広図書館、八広小での清掃活動やペットボトルの回収処理、各学年による八広講演の清掃活動などを実施してきました。

今回は高齢者を対象にした社会貢献活動に取り組むため、高等部の特別活動に位置付け、生徒会の生徒が主体性をもって取り組み、社会貢献を意識した活動となることを目指しました。

社会貢献活動を行った特別養護老人ホーム和翔苑は、徒歩6～7分程度という近隣にあり、地域に根差した施設でしたが、これまで当校との交流はありませんでした。そのため、今回が和翔苑の利用者の方を対象にした、初めての社会貢献活動となりました。



白熱した風船バレーに歓声が上がります

## 活動報告 実施日:11月2日(水)

今回、初めての訪問による社会貢献活動ということから、施設の利用者の皆さんが全員車イスということから、活動時間を短くして利用者の皆さんにご負担をかけないように努めました。

また、参加した生徒の自己紹介、歌のプレゼントを行った後に、風船バレーボールという車いすの方でも簡単にできるゲームにより交流を深めました。そして、最後にご参加いただいた利用者のみさん全員に個別に御礼を伝える、という内容にしました。

活動参加者 当校 高等部生徒…12人 引率教員…4人  
内訳 交流先 利用者…12人 担当職員…2人

交通手段 当校と和翔苑の距離はおおよそ600m  
徒歩で6～7分

## 当日のスケジュール

13:30 学校・施設・さわやか青少年センター・都教委4者打合せ

14:25 交流開始(学校:生徒司会「始めの言葉」、施設挨拶)

14:30 自己紹介(学校生徒のみ)

14:40 歌披露(1曲 嵐の「ふるさと」)

ゲームによる交流

風船バレーボール(くじ引きで生徒と高齢者がペアを組む)

2人の生徒と2人の高齢者がチームをつくり、3チームずつ2つのリーグに分かれてゲームを行う。それぞれのリーグで3ゲームのリーグ戦を実施する。

14:55 交流終了(学校:生徒司会「終わりの言葉」、施設挨拶)

## 活動のために準備したもの

- 歌の練習 ● 風船バレーゲームのルールづくり
- 司会原稿づくり ● 生徒同士での模擬プレイ

## 工夫したところ

- 高齢者の方や生徒自身も楽しめる選曲  
→ NHKの紅白歌合戦のために制作された楽曲、NHKの音楽コンクールの課題曲
- お互いに楽しめる活動を考える。  
→ お互いに行ったことがある風船バレー

## 実施にあたって注意したところ

- 生徒自身がゲームに熱くなりすぎず、思いやりをもってゲームを進める。(安全管理)
- 一方的でなく、双方向のコミュニケーションとなるようにした。

## 良かったと思うところ

- 生徒たちが、高齢者に思いやりをもって接することができたこと。
- 高齢者の方が、優しく暖かく生徒を迎え入れてくれたこと。

## 今後に向けての学校からの抱負

今回は高等部生徒との交流でした。今後は小学部児童や中学部生徒がどのような交流ができるかについて検討したいです。高等部生徒はお年寄りを思いやる気持ちがある程度備わっていますが、小・中学部の児童・生徒の場合、お年寄りとの接し方等の事前学習を積み、互いの安全配慮に十分に手当する必要があると感じました。

## 活動の感想

## 生徒・教員の感想

## 生徒

- 老人ホームには初めて行きましたが、しっかりお年寄りの方に優しく接することができました。
- 高齢者の方と接する機会が少ないので、最初はどうなるかと思いました。笑顔で生徒会のメンバーを歓迎してくださったので、嬉しかったのと、歌を披露したときとても喜んでくださったのが、嬉しかったです。風船バレーは思いのほか楽しむことができました。
- 来た時からおばあちゃんの優しい雰囲気があふれていて、バレーボールをやっているときも楽しく笑顔ができて良かったと思いました。楽しかったです。

## 教員

今までにない活動のため、準備の仕方や事前学習の内容設定が難しかったのですが、実際に行ってみて予想以上に有意義な交流内容となつてよかったです。特に高齢者施設(和翔苑)のスタッフの方々に対応や準備等でとても助けていただいたと感じました。また、今回参加された利用者の皆さんにも優しくしていただきありがとうございました。今回の事業は年度途中の話で、急きょ準備や事前学習を計画に入れることが大変でした。今後につなげよりよい活動となるためには、次回以降は年度前、当初より計画的に進める必要があると思います。

## 施設の参加利用者・担当者の感想

## 利用者

- 今日はとても良かったです。ゲームは楽しかったです。 ● とても面白くて、楽しくできました。
- 高校生になったような気になりました。若い人たちとゲームを久しぶりにして楽しかったです。

## 生活相談員

この度、モデル事業としてこのような交流の機会を頂け、普段とは違うご利用者様の表情や笑顔を見ることができました。せっかく頂いた機会なので、これからもこのような交流の機会を作っていければと思っています。

## ■ 実施までの経過 ※ (コ):コーディネーター

8月24日 当校と(コ)が第1回打合せ。同日、(コ)が和翔苑を訪問し生活相談員に協力を打診。(コ)が和翔苑の施設長を訪ね、協力を依頼。ご快諾いただく。

8月30日 当校の副校長と(コ)で和翔苑を訪問。施設の状況を確認し、副校長から施設長に改めて協力を依頼、社会貢献活動の実施が決定。9月7日 その後、生活相談員が当校を訪問し、生徒の様子を確認する。

10月21日 和翔苑にて、当校の主任教諭と生活相談員、(コ)の3者で社会貢献活動当日の最終打合せ。

11月2日 開催当日に至る。

## 交流先

社会福祉法人八広会  
特別養護老人ホーム和翔苑

住所:東京都墨田区八広6-55-17

## ■ 施設概要

- 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 入所定員90名
- 通所介護事業(デイサービス) 1日30名
- 短期入所生活介護事業(ショートステイ) 10名
- 居宅介護支援事業(ケアマネージャーによる介護保険サービスの相談)
- 訪問介護事業(ヘルパーステーション和翔苑)



手話をつけた歌のプレゼントをする



お別れは感謝の気持ちを込めて